

合格体験記

氏 名:

担任講師:

先生

在籍校舎:

スガモ

校

進学先

都立小山台

その他
合格校

特になし

*入試に役立った先生のアドバイス・勉強方法や、合格につながった体験・エピソード等を書いてください。

私がこの稲門学舎という塾を初めて知り、入ったのは中学1年の6月ごろでした。そのときの、稲門学舎の印象としては、先生と生徒間の会話は多く、距離が近いということです。そしてまた、生徒同士の関わりはあまりなく、落ち着きのよい塾だと、私は思いました。先ほどあげた、先生と生徒間の距離が近いという点は、志望校を決めるときや何を勉強するかなど、予定や計画を立てるときにおいて、大きな利点になった気がします。そしてまた、生徒同士の関わりがあまり多くないという点は、自習室での勉強や授業などにおいて、集中できるのによい点になると思います。この2つの点から稲門学舎は、個別指導塾の利点を全て凝縮したような塾だと、私は思いました。

そして、次に私の稲門学舎での勉強法をお伝えしたいと思います。私は、中学3年間学校外で野球をやっていて、塾にはあまり通うことはしていませんでした。そして、私はスキマ時間で勉強をするほど、勉強が好きではないので、中学1年、2年のときは塾の授業でしかペンを握っていないような状況でした。そんなとき、COVID-19により、学校が休みになり、1日の学校が無くなりました。ここが、私の分岐点でした。理事長から理社と教材をもらい、ひたすら理社と自習期間に行、たのです。その結果、元々得意であった理社がより得意になり、その結果他の3教科の勉強時間を増やすことができたようになりました。やはり、人はスイッチが入ったと恐ろしいものになりますね。そして、徐々に勉強時間を増やすことができるようになりました。ままとまらぬ

い話になりましたが、言いたいことは、勉強
法は人それぞれなので、他者の良い点を盗む
だけでなく、自ら勉強法を見つけることが
大事だということです。

後輩もこれからがんばってください。
以上、